



中世の人と美術

特別企画展

8月21日(金)→10月4日(日)



重要文化財／菅田宗廟縁起絵巻 下巻(部分) 室町時代 菅田八幡宮蔵

入館料 一般 620円 高校・大学生 410円 小学・中学生 無料

開館時間／午前10時～午後5時(入館は午後4時まで)

休館日／毎週月曜日(ただし、9月21日(祝)は開館し、24日(木)が休館)

後援／東京大学史料編纂所・奈良県教育委員会・奈良市教育委員会

※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料 ※身障者手帳等ご提示により本人と同伴者1名2割引

シンポジウム 9月20日(日) 午後1時・講堂

「文化財を守り、未来へ伝えるために－「中院一品記」修理事業から－」

基調講演／福岡大学大学院人文科学研究科 教授 森 茂暁氏

報告・ディスカッション／東京大学史料編纂所所員ほか

特別講演 9月27日(日) 午後2時・講堂

「聖者の群像、霊地の形象－「菅田宗廟縁起絵巻」「石山寺縁起絵巻」を読み解く－」

東京大学大学院人文社会系研究科 准教授 高岸 輝氏

日曜美術講座 8月30日(日) 午後2時・講堂

「中院通冬が生きた時代の美術－14世紀美術の一側面－」 当館学芸員 古川 攝一

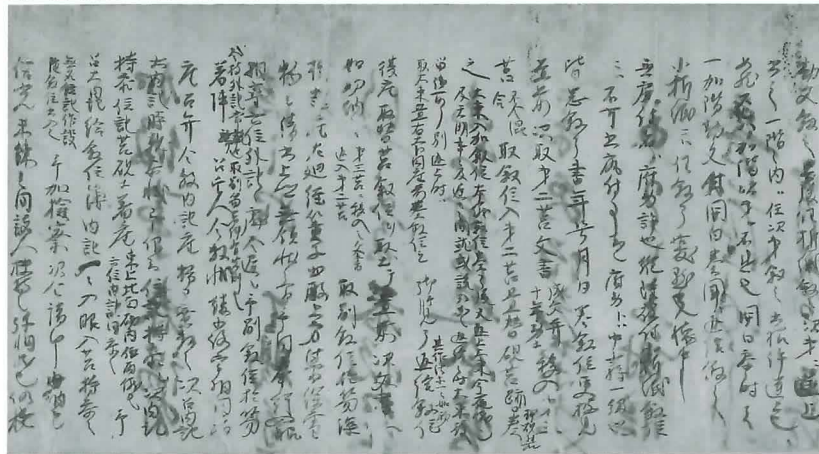
講座 美術の窓 9月13日(日) 午後2時・講堂 「江戸の千社札」 当館館長 浅野 秀剛

列品解説 毎週土曜日 午後2時から当館学芸部による

華コンサート 8月29日(土) 午後1時・講堂 アンサンブル 郷(弦楽アンサンブル) ※要整理券

大和文華館

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6 TEL (0742) 45-0544 FAX (0742) 49-2929
<http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/yamato/index.html>

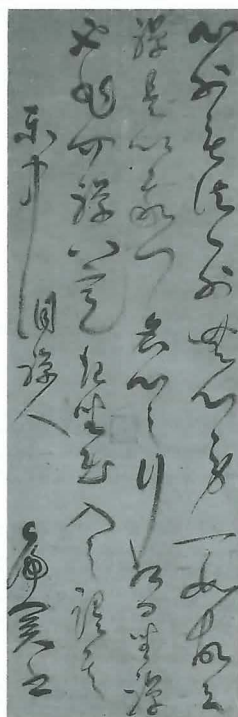


中世のひとと美術

特別企画展

日本の中世は、社会体制や権力構造が大きく転換し、美術を生み出す人々の層が大きく広がりました。絵画に落款が認められ、描いた人物の名前が明らかにされたり、公文書にはサインである花押が用いられるなど、個性や個人に目が向き、意識された時代でもあります。天皇や公家のみならず、武士や僧侶にも個性あふれる様々な人物が活躍します。

展覧会ではこうした中世を生きた人々に注目し、日記や消息、僧侶の肖像、墨蹟、祖師絵伝、社寺縁起などを展示いたします。中でも、南北朝時代に活躍した中院通冬(1315～1363)の自筆日記である「中院一品記」の断簡が、同時代の公家である洞院公賢(1291～1360)の自筆書状の紙背として当館に所蔵されます。日記の大部分は東京大学史料編纂所に所蔵され、このたび修理が行われたのを機に、当館所蔵断簡との接続部分を特別に展示いたします。また、公賢が石山寺座主・益守とともに企画した「石山寺縁起絵巻」のうち第五巻と、同巻と同じ絵師が描いたとされ、室町幕府八代将軍足利義教によって奉納された「菅田宗席縁起絵巻」下巻も特別出陳されます。激動の中世を生きた人々の美意識とまなざしをお楽しみ下さい。



重要文化財／墨蹟法語 虎関師録筆 南北朝時代 大和文華館蔵



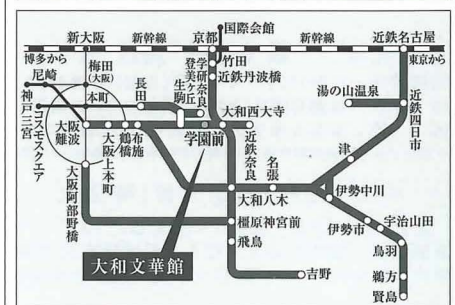
足利尊氏自筆御神号 南北朝時代 大和文華館蔵



一休宗純像 伝首我蛇足筆 室町時代 大和文華館蔵

出陳品 約50件 (◎=重要文化財、○=重要美術品)

祖師へのまなざし	◎菅田宗席縁起絵巻 下巻 室町時代 菅田八幡宮蔵 ◎維摩居士像 文清筆 室町時代 大和文華館蔵 ○龍湫周澤像 室町時代 大和文華館蔵
霊地へのまなざし	◎笠置曼荼羅図 鎌倉時代 大和文華館蔵 ◎柿本宮曼荼羅図 鎌倉時代 大和文華館蔵 ◎石山寺縁起絵巻 巻第五 南北朝-室町時代 石山寺蔵
自然へのまなざし	◎竹雀図 可翁筆 南北朝時代 大和文華館蔵 松雪山房図 室町時代 大和文華館蔵 松梅佳処図 室町時代 大和文華館蔵
当世へのまなざし	中院一品記 南北朝時代 東京大学史料編纂所蔵 中院一品記断簡 南北朝時代 京都大学総合博物館蔵 中院通冬記 江戸時代 京都大学附属図書館蔵 中院通冬記裏書文書 江戸時代 京都大学附属図書館蔵など



交通 近鉄奈良線学園前駅下車、南出口より徒歩約7分、無料駐車場あり

大和文華館

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6
TEL (0742) 45-0544 FAX (0742) 49-2929

ホームページ: <http://www.kintetsu-g-hd.co.jp/culture/yamato/index.html>